

PFI (BTO方式)		函南「道の駅・川の駅」PFI事業《函南町(静岡県)》		
人口:約4万人				
<p>■概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業はPFI手法で道の駅を整備し、維持管理・運営を行う事業。物産販売所、飲食施設を民間事業者が独立採算で運営することとなっている。</li> </ul>				
<p>■事業実施の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>函南町では、伊豆縦貫自動車道の一部を構成する東駿河湾環状道路の供用により交通環境が向上する一方、町内が分断され、観光客等の通過交通の増加が懸念されていた。また、居住人口の増加が期待できない中で、交流人口の増加が必要とされ、道の駅の整備は函南町の発展に必要と位置づけられていた。</li> <li>また、国土交通省が町と連携して進めている狩野川塚本地区河川防災ステーション整備(川の駅)と一体的な連携を図ることから、平成23年度には、町、国土交通省、静岡県による計画検討作業部会を設立して検討を進めた。</li> </ul>				
<p>■PPP/PFI 手法導入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町は平成24年度にPFI導入可能性調査を行うとともに、函南「道の駅・川の駅」整備推進協議会及び小委員会を組成して事業化に向けての検討を行った。その結果、小委員会において、物販という事業内容を踏まえると、PFIでの事業化が望ましいという意見が出されたことから、函南「道の駅・川の駅」整備推進協議会においてPFI手法の導入を決定した。</li> <li>整備する施設のうち、地域活性化機能の物産販売所と飲食施設については、町が躯体部分までの施設整備費を負担し、町と事業者との間で定期建物賃貸借契約を締結した上で、事業者が物産販売所等の設備、内装、什器・備品の費用を負担し、独立採算で運営することとなっている。</li> </ul>				
《事業データ》				
施設規模	敷地面積:13231.25㎡ 延床面積:(北側)1483.65㎡ (南側)208㎡			
	交通安全機能(交通安全情報施設)、広域情報発信機能(観光情報案内施設)、地域活性化機能(物産販売所・飲食施設・交流施設等)、防災機能(防災備蓄倉庫等)、駐車場、展望歩道橋、その他(附帯施設:24時間営業の売店)			
事業方式	PFI(BTO方式)			
事業類型	混合型 (物産販売所と飲食施設等の運営、附帯事業は独立採算)			
事業期間	平成27年11月～平成44年4月(16年5ヶ月) (設計・建設:約1年4か月/維持管理・運営:15年)			
官民の役割分担	<p>(公共の業務)</p> <p>—</p> <p>【民間事業者の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備業務</li> <li>維持管理業務(保守管理、清掃、外構管理等)</li> <li>運営・運営マネジメント業務(広域情報発信機能施設・地域活性化機能施設の運営、広報、警備等)</li> </ul>			
	<p>〈業務分担のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者が地域活性化機能施設(物産販売所と飲食施設)の独立採算での運営を求めた。</li> </ul>			
事業費	約24億円(税込、落札金額)			
VFM	特定事業選定時	約7.6%	事業者選定時	約8.9%
事業者	<p>◎は代表企業</p> <p>◆は地元企業</p> <p>◎加和太建設(株)、(株)日総建、(株)JM、(株)長大</p> <p>【協力企業】川田建設(株)</p>			

応募グループ	2グループ	
スケジュール	平成25年3月	基本計画の策定
	平成26年8月	実施方針公表
	平成26年11月	特定事業の選定
	平成26年11月	入札公告
	平成27年3月	落札者決定
	平成29年5月	供用開始予定
活用した制度等	社会資本整備総合交付金	
<p>■ PPP/PFI 手法導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運營業務・運営マネジメント業務では、観光バスの積極的な誘客、地域の特色を活かした飲食・物販等の提供、町内主要施設への観光客の誘導などが重要な評価項目として議論され、落札者についても、その実現に向けて取り組むことが期待されている。</li> </ul> <p>■ 地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者選定基準において、「地域活性化の配慮」の項目が設けられ、地元企業の活用や地元雇用、地域活性化に寄与する具体的な提案を求めた。</li> <li>・町に隣接する三島市に本社を置く企業を代表企業とするコンソーシアムが選定され、地元密着型の道の駅の運営が期待される。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right;">(出所)函南町公表資料</p>		
<p>■ 参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(函南町HP)</li> </ul> <p><a href="http://www.town.kannami.shizuoka.jp/gyosei/machizukuri-toshi/michinoeki/pfijigyo/index.html">http://www.town.kannami.shizuoka.jp/gyosei/machizukuri-toshi/michinoeki/pfijigyo/index.html</a></p>		